

奈良市協働のQ&A

vol.25

協働で事業を行った後は、その事業を評価することが必要です。ではその評価とは、何をどのような基準で判断すればいいのでしょうか。

協働の評価って何？

事業を終えた後に、振り返りや見直しが必要だとわかっていても、実際は結果報告だけで終わってしまうことも…。改めて、終わった後のことについて考えてみよう！



行政が単独で事業を実施するときにも評価や振り返りはすると思うけど、協働で行った事業を評価するときには、特に意識することはあるの？

協働事業の評価のポイント

協働事業は、立場や考え方が違う主体と一緒に事業を実施するから、それぞれの意見やものの見方に違いがでてくることがあるんだ。でもその違いや、浮かび上がった疑問と一緒に考えて評価することで、次に活かすことができるんだよ！



評価するときの具体的な項目は決まってないの？

奈良市では、協働の原則（奈良市協働のQ&A vol.2参照）をもとに、協働事業の内容の検証や評価、決算報告をしているよ！「事業評価シート」という1枚のシートにまとめて公表しているんだ！

評価の項目については、左のページの質問で更に詳しく見てみよう。



Q44

協働事業が終わった後、事業内容の検証や評価、決算報告は必要なの？それは誰がするの？

A44

基本的には、協働を行った担当課が、事業内容の検証や評価、決算報告を行うけど、担当課だけでそれらの書類等を作成するのではなく、PDCAに沿って協働の相手と一緒にお互いの視点で確認しつつ検証して作成することが大事だよ！
「事業評価シート」には、「協働相手からの意見」という項目もあるので、協働相手の意見も反映させよう！

事業評価シート

No.	53	事業名	アダプトプログラム推進事業「さわやかグリーン奈良」
部名	市民活動部	課名	市民活動課(関係課:管理課、公園緑地課、土木管理課、道路維持課、河川課)
総合計画上の位置付け	事業	種別	社会福祉
実施年度	14-03	計画(期間)年度	14-03-01
実施期間	14-03-01	年度文化の推進	
協働の事業内容の概要	協働の相手	協働の形態	事業協力
事業の目的	目的	実施年度	14-03-01
事業の特性	特性	実施年度	14-03-01
事業費(単位:千円)	H22決算	H23決算	H24決算
	1,954	1,963	1,732
			1,771
事業概要	市民の方々による身近な道路、河川等の公共施設の美化活動を通して地域コミュニティの再生を図る。		
全体計画	自治会・ボランティア団体・事業者等から美化ボランティアを募り、各団体は活動人数、活動内容、活動地域などを決めて参加申込書を提出する。市はその内容を審査し、適当と認められた場合は団体ご同意書を経由し、その美化活動を支援する。		
達成目標	目標値	単位	年度
	団体	個体	H22
		実績値	H23
			H24
			H25
			H26
達成の手段	事業を周知するためのホームページの充実、アダプトだまりの配付等により、継続的に増加を図る。		
平成24年度の取組内容	P(計画)	D(実行)	C(評価)
	市(行政)	市民活動課の整備 美化活動の支援	活動報告書の提出 見直し・改善の取組
	自治会・ボランティア団体・事業者等	年間の活動計画 美化活動	活動報告書の提出 団体内で協議
協働の評価	協働の原則に基づいて評価項目		
A	B	C	D
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30	31	32
33	34	35	36
37	38	39	40
41	42	43	44
45	46	47	48
49	50	51	52
53	54	55	56
57	58	59	60
61	62	63	64
65	66	67	68
69	70	71	72
73	74	75	76
77	78	79	80
81	82	83	84
85	86	87	88
89	90	91	92
93	94	95	96
97	98	99	100
101	102	103	104
105	106	107	108
109	110	111	112
113	114	115	116
117	118	119	120
121	122	123	124
125	126	127	128
129	130	131	132
133	134	135	136
137	138	139	140
141	142	143	144
145	146	147	148
149	150	151	152
153	154	155	156
157	158	159	160
161	162	163	164
165	166	167	168
169	170	171	172
173	174	175	176
177	178	179	180
181	182	183	184
185	186	187	188
189	190	191	192
193	194	195	196
197	198	199	200
201	202	203	204
205	206	207	208
209	210	211	212
213	214	215	216
217	218	219	220
221	222	223	224
225	226	227	228
229	230	231	232
233	234	235	236
237	238	239	240
241	242	243	244
245	246	247	248
249	250	251	252
253	254	255	256
257	258	259	260
261	262	263	264
265	266	267	268
269	270	271	272
273	274	275	276
277	278	279	280
281	282	283	284
285	286	287	288
289	290	291	292
293	294	295	296
297	298	299	300
301	302	303	304
305	306	307	308
309	310	311	312
313	314	315	316
317	318	319	320
321	322	323	324
325	326	327	328
329	330	331	332
333	334	335	336
337	338	339	340
341	342	343	344
345	346	347	348
349	350	351	352
353	354	355	356
357	358	359	360
361	362	363	364
365	366	367	368
369	370	371	372
373	374	375	376
377	378	379	380
381	382	383	384
385	386	387	388
389	390	391	392
393	394	395	396
397	398	399	400
401	402	403	404
405	406	407	408
409	410	411	412
413	414	415	416
417	418	419	420
421	422	423	424
425	426	427	428
429	430	431	432
433	434	435	436
437	438	439	440
441	442	443	444
445	446	447	448
449	450	451	452
453	454	455	456
457	458	459	460
461	462	463	464
465	466	467	468
469	470	471	472
473	474	475	476
477	478	479	480
481	482	483	484
485	486	487	488
489	490	491	492
493	494	495	496
497	498	499	500

「協働」の評価項目

担当課と協働相手がA~Eの5段階で評価しているよ。

- 互いに対等の関係を保つことができたか。
- 互いの立場や特性を相互に理解し尊重したうえで、それぞれの役割を明確にすることができたか。
- 協働相手の長所を活かし、協働相手の自主性を尊重することができたか。
- 依存や癒着の関係に陥ることのないよう、協働相手の自立化を進められたか。
- 協働相手と目的を共有することができたか。
- 互いの特性を踏まえつつ、互いに補い合いながら役割分担することができたか。
- 協働事業のプロセスや結果等の情報を公開し、市民に対する説明責任を果たすことができたか。
- 協働を通して「共に学び」「共に育ち」「共に変わる」という姿勢や意識を持つことができたか。
- 馴れ合いを防ぐため達成目標や事業期間など協働関係を解消する条件を決め、緊張感を保つことができたか。

「協働相手からの意見等」

協働相手からの意見を記入しよう！

実施した後の振り返りや改善まで、協働で一緒に行うことが大事なんだね！立場が変われば、違う反省点や改善点が見えてくるかも…。

NEXT!

Q45 協働を継続するモチベーションを維持する秘訣は？

…協働を続けていくモチベーションってなんだろう…？